



2022年11月21日

各 位

会 社 名 セレンディップ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 竹内 在
(コード：7318 東証グロース)
問合せ先 取締役経理部長 小谷 和央
(TEL. 052-222-5306)

株式会社アベックスの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長 竹内 在 以下、当社）は、2022年11月21日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社アベックス（本社：東京都八王子市、代表取締役社長 景山 敏行 以下、アベックス）の全株式を取得し、連結子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式取得の理由

当社は、日本の中堅・中小製造業に特化して事業承継・経営の近代化を支援している事業投資会社です。投資先にプロ経営者を派遣し、ハンズオン型の経営支援を行うことで、投資先がものづくりに専念し、再成長できる環境整備を行っています。

当社は自動車部品製造業2社をグループ化しておりますが、この度、当社グループ企業とのシナジーを見込めると判断し、アベックスの全株式を取得し連結子会社化することにいたしました。※1

アベックスは、主に顧客の開発工程における試作品製作を行っており、機械加工、電子制御に留まらず、デザイン、アプリ開発に至るまで、社内一貫製作が可能な技術力を強みとしています。特に、自動車エンドユーザーに対する、新しい顧客体験の提供を可能にするための独自の技術力は、顧客から高く評価されています。また、事業の性質上、試作品の製作を通じて、今後トレンドとなる技術や材料の情報やノウハウを得ることが可能です。

当社グループ企業の安定した顧客基盤を共有することで、アベックスの更なる事業拡大を図ると共に、アベックスの技術力・デザイン力を生かして当社グループ企業の製品開発力・デザイン力を高め、グループ全体の成長を加速いたします。

※1：2020年12月にアント・キャピタル・パートナーズ株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：飯沼良介）が運営するアント・ブリッジ5号A投資事業有限責任組合と共同で、株式会社アベックスと資本業務提携いたしました。

2. 当社の投資戦略

当社の投資戦略においては、国際競争力が高く、サプライチェーンが強固な分野を投資戦略の根幹に置き、安定した事業収益を得られる事業領域を「安定事業」、付加価値の高い事業領域を「成長事業」定義しています。

当社は、安定事業である量産自動車部品領域を中心に投資を実行していましたが、今回の投資は、付加価値が高い成長事業への投資を実行するものであり、上場後初の案件となります。

3. 異動する子会社（株式会社アベックス）の概要

(1) 名 称	株式会社アベックス			
(2) 所 在 地	東京都八王子市宇津木町 523 番地 1			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 景山 敏行			
(4) 事 業 内 容	開発段階における試作受託、デザインモックアップ製作、概念実証モデルの制作、HMI、UI/UX 開発サポート			
(5) 資 本 金	100 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	1975 年 4 月 28 日 ※形式上の存続会社であるアベックス・ホールディングス株式会社は、2021 年 4 月 1 日に実質上の存続会社である株式会社アベックスを吸収合併し株式会社アベックスに商号を変更しております。上記は、株式会社アベックス（実質上の存続会社）の設立年月日です。			
(7) 大株主及び持株比率	アント・ブリッジ5号A投資事業有限責任組合 86.7% セレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社 13.3%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社の 100%子会社であるセレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社が 13.3%出資しております。		
	人 的 関 係	役員の派遣（3名）あり。		
	取 引 関 係	当社役職員派遣に対する経営コンサルティング料の收受		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2020 年 9 月 期	2021 年 3 月 期	2022 年 3 月 期
純 資 産		2,689 百万円	2,679 百万円	392 百万円
総 資 産		2,882 百万円	3,087 百万円	1,123 百万円
1 株 当 たり 純 資 産		1,245,333 円 91 銭	1,240,705 円 87 銭	1,309 円 21 銭
売 上 高		1,370 百万円	727 百万円	1,447 百万円
営 業 利 益		△23 百万円	24 百万円	68 百万円
経 常 利 益		19 百万円	52 百万円	80 百万円
当 期 純 利 益		9 百万円	△75 百万円	123 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益		4,448 円 54 銭	△34,738 円 13 銭	411 円 75 銭
1 株 当 たり 配 当 金		-円	-円	-円

※1. 形式上の存続会社であるアベックス・ホールディングス株式会社は、2021 年 4 月 1 日に実質上の存続会社である株式会社アベックスを吸収合併し株式会社アベックスに商号を変更しております。

2020 年 9 月 期 及 び 2021 年 3 月 期 は、実質上の存続会社である株式会社アベックスについて記載しております。なお、2021 年 3 月 期 は 6 ヶ 月 の 変 則 決 算 と な っ て お り ま す。

※2. 1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	決算期	2020 年 9 月 期	2021 年 3 月 期	2022 年 3 月 期
期末発行済株式数 (自己株式を含む)		15,640 株	15,640 株	300,000 株
期 末 自 己 株 式 数		13,480 株	13,480 株	-株
期 中 平 均 株 式 数		2,160 株	2,160 株	300,000 株

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	アント・ブリッジ5号A投資事業有限責任組合	
(2) 所 在 地	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号	
(3) 設 立 根 拠 等	投資事業有限責任組合契約に関する法律	
(4) 組 成 目 的	資本政策上の課題や制約条件を抱えている国内の中堅中小企業の株式に投資を行うため組成されたものです。	
(5) 組 成 日	2019年3月29日	
(6) 出 資 の 総 額	212億円	
(7) 出 資 者 ・ 出 資 比 率 ・ 出 資 者 の 概 要	開示を受けていないため非開示とさせていただきます。	
(8) 業 務 執 行 組 合 員 の 概 要	名 称	アント・キャピタル・パートナーズ株式会社
	所 在 地	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号
	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 飯沼 良介
	事 業 内 容	プライベートエクイティファンドの運営・助言等
	資 本 金	1億円
(9) 上 場 会 社 と 当 該 フ ァ ン ド と の 間 の 関 係	上 場 会 社 と 当 該 フ ァ ン ド と の 間 の 関 係	該当事項はありません。
	上 場 会 社 と 業 務 執 行 組 合 員 と の 間 の 関 係	該当事項はありません。
	上 場 会 社 と 国 内 代 理 人 と の 間 の 関 係	該当事項はありません。

(1) 名 称	セレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社	
(2) 所 在 地	愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号	
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 高村 徳康	
(4) 事 業 内 容	事業承継支援、M&A アドバイザリー、共同投資事業	
(5) 資 本 金	5百万円	
(6) 設 立 年 月 日	2020年3月10日	
(7) 純 資 産	37百万円 (2022年3月期)	
(8) 総 資 産	87百万円 (2022年3月期)	
(9) 大 株 主 及 び 持 株 比 率	セレンディップ・ホールディングス株式会社 100%	
(10) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社の100%子会社
	人 的 関 係	役員の兼任(3名)、役員及び従業員の派遣(4名)あり。
	取 引 関 係	経営指導・当社役職員派遣に対する経営指導料の授受あり。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当社の100%子会社であり関連当事者に該当します。

5. 取得株式数, 取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0.0%)
(2) 取得株式数	300,000株 (議決権の数: 300,000個)
(3) 取得価額	守秘義務により非開示とさせていただきますが、取得に係る対価合計額は、当社2022年3月期末連結純資産の15%未満であります。
(4) 異動後の所有株式数	300,000株 (議決権の数: 300,000個) (議決権所有割合: 100.0%)

6. 日程

(1) 取締役会決議日	2022年11月21日
(2) 契約締結日	2022年11月21日
(3) 株式譲渡実行日	2023年1月10日(予定)

7. 今後の見通し

株式会社アペックスのみなし取得日を2023年3月期第3四半期会計期間末として、2023年3月期第4四半期から連結財務諸表に含める予定であります。なお、本件に伴う2023年3月期の通期連結業績に与える影響については、判明次第速やかに開示致します。

以上

(参考) 当期連結業績予想(2022年11月10日公表分)及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2023年3月期)	14,365百万円	204百万円	122百万円	163百万円
前期連結実績 (2022年3月期)	13,805百万円	194百万円	179百万円	199百万円